



参加
無料

事前申込
不要

直接会場へ
お越しください

第4回歴史文化講座

阪神・淡路大震災以降の 文化財保全

— 守る・つなぐ・活かすひとびと —

2025 **2.2** SUN 13:00～
15:00(12:30開場)

武庫川女子大学文学2号館 L2-53教室

報告

河野 未央

(武庫川女子大学文学部歴史文化学科准教授)

ゲストスピーカー

立岡 宏美

(吹田市教育委員会)

【立岡宏美(たちおかひろみ)プロフィール】平成23年(2011年)、吹田市役所に入庁。文化財保護課、シティプロモーション推進室等を経て、現在は文化財保護課にて主に、市が管理を行う文化財建造物の保存・活用に関わる業務に従事している。

【論文等】

- 「中西家の古文書 ～元禄16年東村「名寄帳」について～」(『吹田市立博物館だより』第49号、2012)
- 「嘉永期における凶荒と上月組の村々:元三日月落上月組大庄屋・大谷家文書から見えること」(神戸史学会編『歴史と神戸』52巻3号(通号298号)、2013)
- 「文化財通信～都呂須地車太鼓について～」(『吹田市立博物館だより』第53号、2013)

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、指定文化財のみならず多くの民間所在資料が被害を受けました。これを受け、未指定の民間所在資料を救出・保全するボランティア活動が阪神間で展開します。その後日本列島で繰り返し発生する大規模自然災害に対し、各地でも同様に文化財保全をはかるボランティア活動が行われ、全国的なネットワークが形成されるなど、活動の輪は広がりました。

活動には、日本史研究者や行政の文化財担当者などの専門家だけでなく、地域住民や日本史学等を学ぶ学生・院生も参加しており、その後地域の文化財保全に仕事・ボランティアとして関わる人材が数多く輩出されています。

本講座では、阪神・淡路大震災以降展開した文化財保全の活動を紹介し、その流れを振り返るとともに、災害などの非常時だけでなく、日常時も含めた文化財保全の「今後」をも見通し、考える機会とします。

2024年4月に、武庫川女子大学文学部に「歴史文化学科」が誕生しました。学科新設を記念して一昨年よりスタートした歴史文化講座は、今回で4回目となります。ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。



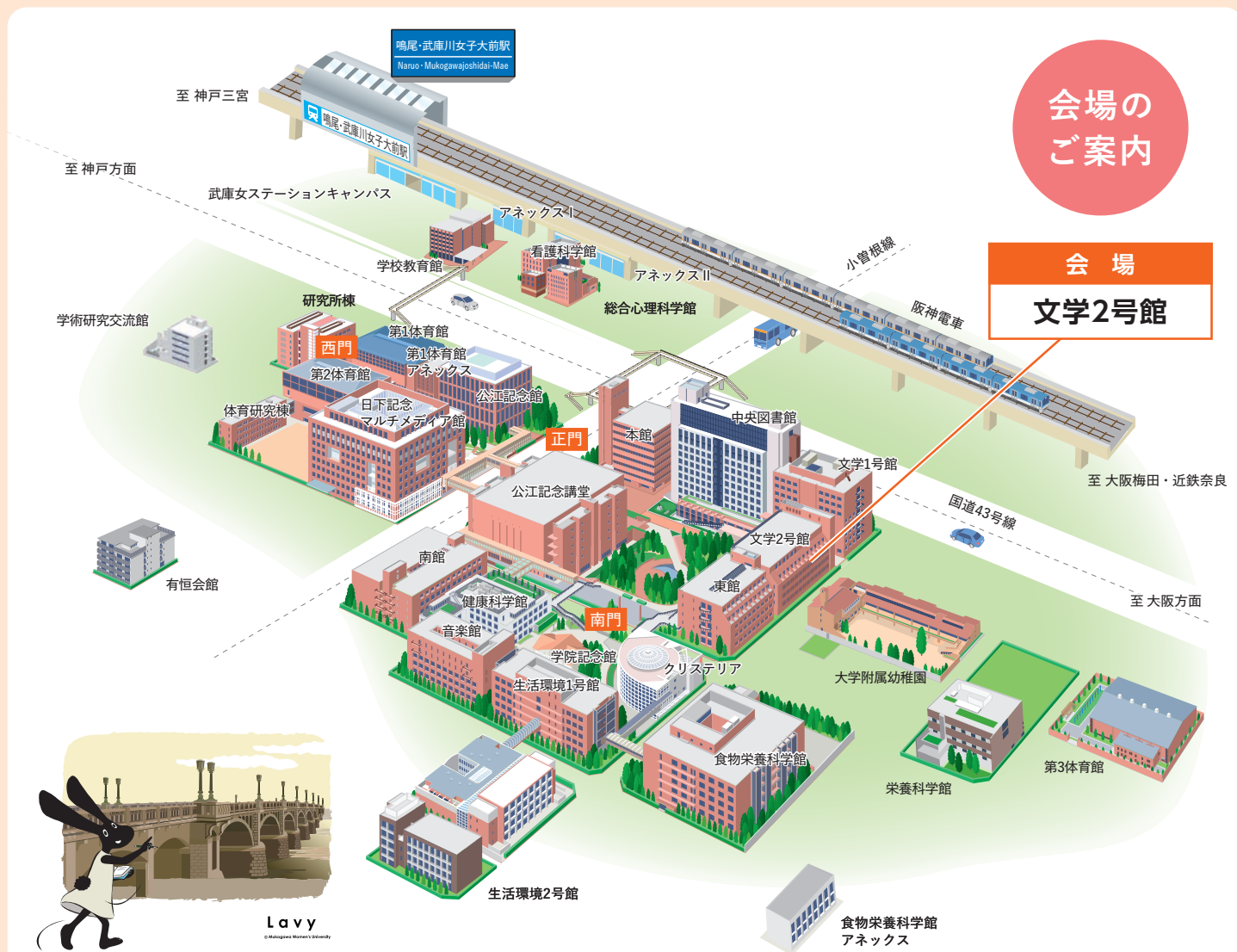
第4回歴史文化講座

阪神・淡路大震災以降の 文化財保全

2025 **2.2** SUN 13:00~
15:00 (12:30開場)

— 守る・つなぐ・活かすひとびと —

武庫川女子大学文学2号館 L2-53教室



公共交通機関をご利用の場合

阪神本線「鳴尾・武庫川女子大前駅」下車、南東へ徒歩約8分

※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

